

地域支え合い災害時要援護者支援モデルの構築



社会福祉学科
(社会福祉専攻) **江原 勝幸**

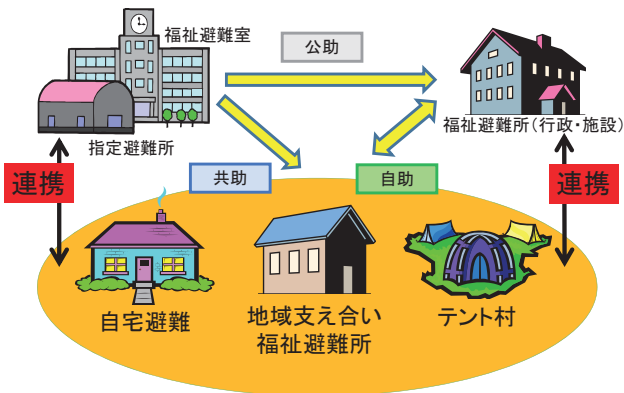
● 連絡先 TEL : 054-202-2685 FAX : 054-202-2685



災害時要援護者、福祉避難所、地域福祉力、
多層的ネットワーク支援、地域づくり

避難行動や避難生活において、高齢者、障害者、子どもなどの要援護者支援は地域の喫緊な課題であるが、具体的な支援策に結びついていない。「自助」には限界があり、「共助」の関係性が弱まり、「公助」も一向に進まない中、要援護者が大規模災害時に取り残されることをまた繰り返すことになりかねない。本研究は、地域住民主体で支え合う福祉避難所の設置及び運営を考察し、多層的なネットワーク支援による要援護者支援体制を構築するものである。普段からの関係性を活かした共助が要援護者の命を救い、生活を支えることを中心に、地域での自助・共助・公助が機能する支援モデルを考察・検証する。平常時から顔の見える関係や地域の福祉力が災害時に力を発揮する地域支え合い支援は、より豊かで安心できる地域づくりに貢献することが期待できる。

要援護者の地域支え合い支援モデル



アピール
ポイント

具体的な地域での要援護者支援の体制づくりを目指します。
普段の住民同士の関係強化や地域福祉力の向上が期待できます。